

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	益田市立戸田小学校
授業者	吉野敏子, 濱屋崇, 勝部薫, 徳田理恵

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「ひとまるの里」の海へ Let' s Go!

#### 1-2. 学年

5年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間, 国語

#### 1-4. 単元の概要

海洋調査を中心として森林と海の関係に視点を広げ, 環境課題について興味関心を高め, 自然を大切にすると共に自分たちにできることを考える。

##### ○中心となる活動

- ・海洋調査（環境・生物・漂着物等）による海の環境課題を知る学習
- ・専門講師による森林と海の関係の視点から地球規模の環境課題を把握し理解する学習
- ・地元の漁師さんのお話を聞き, 地元の海を中心とした環境課題を深める学習
- ・地域へのプレゼン（情報発信）のための広げる学習

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

海の近くで成長してきた子どもたちではあるが, 実際に海で遊ぶ経験が少ないのが実態である。地球規模の環境課題に気づき, 自分たちの生活圏の中にある海も例外ではないことから自分事としての理解を深め, 自分たちにできることを考え, 自然を大切にしていこうとする意欲をもたせるため, この単元を設定した。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 身近な自然である海に関心を持ち, 小野の豊かな海を守る意欲を持つ。
- 地球規模の環境問題について森林と海の関係の視点から課題を自分事としてとらえ, 自分の生き方について考える。

1-7. 単元の展開（全24時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○海を中心とした地球規模の環境課題を見つけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の環境問題に関する知識をまとめ、これからの学習の見通しをもたせる。</li> </ul>	<p>○環境問題について知っている知識を確認し、これからの学習の見通しをもたせる。</p>
3	<p>○磯遊びをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯の生き物や自然と触れ合い、海の環境に対して興味関心をもつ。</li> <li>・磯の生き物や漂着物を観察し、疑問や今後調べてみたいことを見つける。</li> </ul>	<p>○磯遊びを通して、海の環境への興味関心を高めるられるよう、適切な声かけや支援を行う。</p> <p>○ライフジャケットを着用させるなど、安全対策には十分留意する。</p>
2	<p>○地域の漁師さんに会って、話を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁師さんの話を聞き、地域の海の環境や漁師さんの仕事の現状などについて知る。</li> <li>・様々な魚介類の標本を見て、海洋生物への興味関心をもつ。</li> </ul>	<p>○漁師の方の話を聞き、漁師さんの仕事や現状、海の環境について知識を深めることができるようにする。</p> <p>外部連携：飯浦漁師 宮野さん</p>
4	<p>○漂着物調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漂着しているゴミの種類や量などを調べる。</li> </ul>	<p>○漂着物について関心をもてるよう、実際に漂着物を拾い、調べる。調べ方について産業廃棄物課の方に指導していただく。</p> <p>外部連携：島根産業廃棄物課</p>
2	<p>○森林についての話を聞き、森林と海の関係を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森についての話を聞き、森の役割や海との関係、現在の環境の様子について興味を持つ。</li> <li>・間伐作業や丸太切り体験を通して、森林の大切さに気付く。</li> </ul>	<p>○講師のお話や体験活動を通して、海と森林の関係や森林の大切さに気付かせるよう仕組んでいく。</p> <p>○習得したことを自分事として捉えられるように振り返りを位置づける。</p> <p>外部連携：NPO法人もりふれ倶楽部</p>
2	<p>○自分の調べたい課題を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を通して、調べてみたいことや興味のあることを見つけ、調べ学習のテーマを決める。</li> </ul>	<p>○市立図書館とも連携して図書館の本を充実させることで、幅広くテーマを決められるようにする。</p>
8	<p>○自分の課題について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のテーマについて本やインターネットを使い調べる。</li> </ul>	<p>○図書館の本やタブレット端末を使用して情報収集させる。</p> <p>○自分のテーマについて調べさせる。どう調べて良いかわからない児童に対しては、これまでの活動をふり返らせ、自分の地域ではどうかということを考えさせる。</p>

2	<p>○調べてきた学習を広めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新聞にまとめて展示したり学習発表会で成果発表をしたりして情報発信をする。</li></ul>	<p>○学習発表会で全校児童や保護者に調べてきたことを発信する。</p> <p>○学習発表会の様子を撮影した動画を地域の方にも公開し、情報を発信する。</p> <p>○今後、自分事としてより主体的に考えていこうとする意識を喚起させる。</p>
---	---	---

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

○匹見（市内山間部）周辺の森林を通して、森林の大切さや森林と海との関係に気づき、環境問題に対する興味関心をもち追究しようとする意欲を高める。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 活動のめあてを確認する。</p> <p><input type="text" value="海と森林の関係や森林の大切さについて考えよう。"/></p> <p>2. 森の散策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木々の種類や働きについてお話を聞きながら散策する。</li> </ul> <p>3. 森林の大切さについて講師の方のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・微生物の役割</li> <li>・おいしい水は森林が作る</li> <li>・森は海の恋人，日本人と森林</li> <li>・水の循環，海と森の繋がり</li> </ul> <p>3. 丸太切り体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸太を全員が交代で切る。</li> </ul> <p>4. 間伐体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐する木にロープをかける。</li> <li>・数本の木を全員が交代して切る。</li> </ul>	<p>○これまでの海に関する学習を想起させ、海と森林の関係について学ぶことを意識づける。</p> <p>○木々に関するお話を聞きながら今回の活動について興味関心を高める。</p> <p>○森林の大切さや役割についての知識を高め、次の体験活動に臨めるよう声掛けをする。</p> <p>○のこぎりの扱いに慣れることと、安全対策に留意する。</p> <p>○倒れる木の道筋を決め、ロープ等で十分な安全対策を講じる。</p> <p>○間伐することで地面に日光が当たり、森林の成長を促進することを押さえ、森林管理の大切さに気付かせる。</p> <p>☆海と森林の関係について、地球規模の環境問題と共に、自分事としてとらえようとしている。 (発言，振り返りシート)</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

環境課題について、森林と海の関係に関する視点から地球規模の課題と身近な海的环境課題について現状を知ることで課題意識をもたせて取り組んだ。より詳しい理解を促すためそれぞれの道に明るい専門の方を講師として招きお話を聞く機会がもてたこと、そして、直接市内の山間部へ出向き、森林に触れ体験活動を取り入れてことで、子どもたちの課題意識と追究意欲の高揚のために大変効果的であった。実際、子どもたちは個々に様々な環境課題をテーマとして調べ学習を進めてきた。

調べた内容について、学習発表会で全校児童や保護者に情報発信した。また、発表の様様を撮影した動画を、後日、地域の方にも見ていただいた。見ていた保護者や地域の方より、「勉強になった。」「出来ることをしていかなくてはと思った。」等といった感想をいただくことができた。

また、昨年度『「ひとまるの里」の海と仲良くなろう～SDGsの視点から～』として学習した現6年生は、環境に関する興味関心を維持しており、ゴミの分別やリユースなど、自分たちにできることを自分事として取り組んでいる姿が見られている。学習の成果が持続していることを嬉しく思う。

### 4. 今後の課題

今回、昨年度の課題として挙げていた「海と森林のつながり」について、体験活動と併せて実施することができた。今後も、海を中心として地球規模の環境課題、そこから関連していく森林などの自然についても深めていく活動を取り入れていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。